

精神障害者 就労事情の今と昔

家族会・明生会は昭和47年に発足しました。同53年、会員の個人宅を借りて4名の利用者がガスメーターの解体作業を始めました。これが法外作業所「憩の家」です。同56年、静岡県は小規模授産施設の要綱を策定しましたが、その設置主体が「市町村、身体障害者福祉会、手をつなぐ親の会」に限定されていたため、明生会は手をつなぐ親の会からの受託事業として小規模作業所を運営していました。この当時、当事者は自立や社会参加への道筋が殆どなく、小規模作業所は家族や職員、理解者に支えられ、主たる機能は居場所でした。

そして、半世紀後の現在、平成17年障害者総合支援法等の整備と共に精神をはじめ障害者の就労事情は大きく改善されてきました。背景には人口減少と高齢者増による労働力不足がありますが、訓練等給付だけでも全国で延べ70万人の障害者が利用。また就労支援と名がつくサービスは選択（R7.10から）、移行、継続A、継続B、定着と5種類あり、特にB型は延べ35万人が利用しています。また障害者雇用促進法、同差別解消法の整備は就労事情への影響は大きい。また今年度から義務化されている「合理的配慮」の動向に注目しています。



しかし、家族会活動からは、こと就労については「制度は整ってきたが、失敗するケースも多い」と聞きます。失敗を繰り返したあげく、引きこもり或いは無為な毎日を過ごしているというようなケースです。事業者側には、職務の内容や業務量、人間関係、指導方法、障害特性への理解、相談体制やジョブコーチの機能等々への課題対応を求めます。また障害者には働く心構えや主体性等に課題があるとも思います。

分業と競争原理の現代社会のなかで、「働くことで社会参加する」ことは障害者の自立とリカバリーの基礎条件であると思います。福祉の多元化傾向が顕著な昨今、障害者の就労問題に社会全体が関心を寄せ注力していくべき、と考える次第です。

（赤池 千明）



理事会からの報告 — 6月から8月まで —

5月26日（日）明生会の第21回通常総会が無事に終了し、新年度事業が本格的にスタートしております。本年度、精神保健福祉は特に法制面での変化があるために会の事業にも少なからず影響があると思いますので気を引き締めて運営に注力してまいります。

全体の法人決算は6月から8月までは作業所の利用者数の減により3ヶ月決算では赤字を計上しました。9月以降の経営回復に努力するよう考えております。

家族会では8月末で会員数は90名。ピア学習会、家族相談業務、広報誌発行、事務所当番、浜松市からの受任事項、補助金申請等も計画通りに推移しています。課題は新規会員を増やし、会の活性化をはかることであると意識しています。

B型事業所「つばめ創社」については、予算上では年間利用者数19名のところ4月5月の平均が15.3人、6月16人、7月16.5人となっており、この改善が急務です。作業内容は自主製品造りに努力を注力していますが、依然として下請け作業が主になっていることは否めません。下期にかけての課題と認識しております。



令和6年6月～令和6年9月中旬までの活動報告

- 6月16日（日）当事者会（結の会）。明生会事務所にて。参加者、当事者3名世話人2名。
- 6月23日（日）第2回ピア学習会。武道館会議室にて。11名参加。
- 7月14日（日）第4回理事会。明生会事務所にて。参加者、理事6名。
- 7月16日（火）統合失調症家族教室、運営委員会。精神保健福祉センターにて。4名参加。
- 7月18日（木）県連主催、拡大相談員研修。シズウェルにて。相談員4名参加。
- 7月21日（日）当事者会（結の会）。明生会事務所にて。参加者、当事者4名世話人2名。
- 7月28日（日）第3回家族ピア学習会。明生会事務所にて。10名参加。
- 7月30日（火）第1回統合失調症家族教室。精神保健福祉センターにて。担当者、3名参加。
- 8月5日（月）相談員研修会。福祉交流センターにて。相談員4名参加。
- 8月11日（日）第5回理事会。明生会事務所にて。参加者、理事7名。
- 8月18日（日）当事者会（結の会）。明生会事務所にて。参加者、当事者5名世話人3名。
- 8月25日（日）第4回家族ピア学習会。明生会事務所にて。10名参加。
- 8月28日（水）第2回統合失調症家族教室。精神保健福祉センターにて。担当者、3名参加。
- 9月8日（日）第6回理事会。明生会事務所にて。参加者、理事6名。

人生を台無しにする12の考え方の罠

デザイナーであるアンナ・バイタルさん(Anna Vital)が自分を受け入れる能力について語っています。その中で「人生を台無しにする12の考え方の罠」を紹介しています。興味深いので『なるほどなあ』と思っていただければ幸いです。



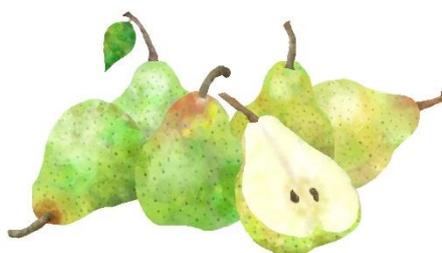
- 1、非現実的なレベルの期待を持ってしまう。
 - 2、根拠もないのに、自分を特別な人間だと思ってしまう。
 - 3、自分の幸せを間違った尺度で判断してしまう。
 - 4、いま持っているものに満足せず、もっと欲しくなる。
 - 5、悪いことが起きていないことを良いことだと思い込んでいる。
 - 6、自分の周りで起きる出来事に、特別な意味を見出そうとしている。
 - 7、他人が自分を幸せにしてくれると思っている。
 - 8、新しいことに挑戦するよりも、失敗する恐怖を重くみている。
 - 9、不幸を慰めてくれる人を探している。
 - 10、幸せを求める行動をわがままだと思っている。
 - 11、不幸の後には、やがて幸福が来ると思っている。
 - 12、仕事が幸福にあたえる影響を甘くみている。
- 番外、幸せになるために、自分なりに努力しているつもりだ。

上記の質問に「イエス」と答えてはいけない。
「イエス」の数が多い人は幸せになれない。

最近、あるウェブ記事に「仮に生涯賃金が3億円だとして、就職や転職は”3億円案件”なんだから、もっと真剣に取り組むべきです」とありました。12番目に書かれている「仕事が幸福にあたえる影響を甘くみている」という質問が私には刺さりしました。

皆さんはどうでしょうか。

(会員 匿名)



今後の活動予定

9月15日(日)当事者会「結の会」。

9月18日(水)相談員研修。明生会事務所にて。13:30~15:00。参加者、相談員。

9月22日(日)第5回ピア学習会。明生会事務所にて。13:00~15:00。参加費300円。

9月24日(火)第3回統合失調症家族教室。精神保健福祉センターにて。13:30~15:30。

10月5日(土)甲州・東海ブロック家族大会。山梨県立大学にて。13:00~16:30。参加費無料。

10月13日(日)第7回理事会。明生会事務所にて。13:00~15:30。参加者、理事。

10月20日(日)当事者会「結の会」。

10月22日(火)第4回統合失調症家族教室。精神保健福祉センターにて。13:30~15:30。

10月27日(日)第6回ピア学習会。明生会事務所にて。13:00~15:00。参加費300円。

11月10日(日)第8回理事会。明生会事務所にて。13:00~15:30。参加者、理事。

11月17日(日)当事者会「結の会」。

お知らせ

令和6年8月15日、公益財団法人「星いきいき社会福祉財団」様より、物品支援活動として、サーキュレーター扇風機2台を寄贈して頂きました。

貴財団様の御厚情に感謝申し上げます。



サーキュレーター



理事の皆さん

能登半島沖地震義援金のご協力ありがとうございました。14,150 円を「みんなねっと」に送金しましたことを、ご報告いたします。



編集後記..

今年は何しろ暑かった。10月くらいまで暑そうです。皆さん、体調はいかがですか。夏の疲れが出てくる頃です。ご自愛下さい。台風にも要注意です。非常持ち出し品をチェックしましょう。
(鈴木智子)